

「ダビデ、王になる」

2026.5.27

聖書に学ぶ 42

Ⅱサムエル記 1:1～2:32

Ⅱサムエル記の始まりは、ダビデがサウル王の戦死を知らされたところから始まります。

ダビデは、サウル王からの解放を喜ぶどころか、サウル王の死を痛み悲しみました。

神によって選ばれたダビデは神の御心を尋ねるところから始めました。それを阻止しようと挑む反対勢力があります。主なる神はそれを止めようとされない方です。

結果は分かっていますが、主なる神は人の自由意志をどこまでも重んじておられるのです。

今日の学びの要点

神の働きに用いられる者、祭司・預言者・王は、主によって選ばれたという示しによって油注ぎが成されなければなりません。一端その選びに預かった者は、主がその全ての責任を負われます。人による選びではなく、主の働きは主による人によって成されます。

I、ダビデ、サウルの死を知る

1、サウルの陣営からきた人は、ダビデに何を知らせましたか。

①イスラエル軍の敗北と王族の死

(Ⅱサムエル記 1:4～5)

②サウル王の最後の様子 (Ⅱサムエル記 1:5～10)

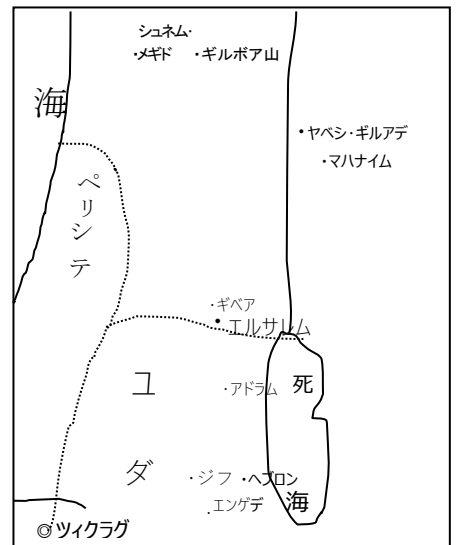
・Ⅰサムエル記 31: 3～5 との違いを見ましょう。

③このアマレク人がわざわざ嘘を言うために来た理由は何でしょうか。

(Ⅱサムエル記 1:9～10)

・ダビデを喜ばせ、——— ダビデはサウル王に追われていた。

褒美がほしい ————— 王冠と腕輪は王様の証拠 …次の王様になる準備になる



2、ダビデはサウル王を神に油注がれた方と見ていました。(Ⅱサムエル記 1:14)

・洞穴の中で、サウル王の上着の裾を切った時

・イスラエルの陣営の中で、サウル王の槍と水さしを取ってきた時

} 手を下さ
なかった。

Ⅱ、神による選び

1、神に選ばれサムエルによって、油注がれたダビデ（Ⅰサムエル記 16:12～13）が最初にしたのは何だったのでしょうか。

① Ⅱサムエル記 2:1

② ユダの人たちはダビデを王にしましたが、ダビデが王になると言ったのではありません。主のご計画はどのように進むのでしょうか。（Ⅱサムエル記 2:4、Ⅰ歴代 11:2～3）

2、イスラエルの最初の王サウルを葬った人々に、ダビデはどうしたのでしょうか。（Ⅱサムエル記 2:5～6）

Ⅲ、人の思いによる選び

1、サウルの叔父アブネルはサウルの息子を王に立てました。
ここから長い戦いが始まります。

ダビデはサウルの家に対して、事を構えるつもりはなかったようである。争い、戦うより、主の時を待つ方を選んだかもしれない。

ヨアブはアブネルに反応して飛び出したが、主にも、ダビデにも聞いていない。ヨアブはダビデの妹の子

① 長年の経験から何かを判断し、行動する場合と、主に尋ねて行動する場合とは、何が違うのでしょうか。

・ 詩篇 94 : 11…人は自分のしたことに対して、その責任を自分で取らなければならない。

・ 詩篇 91 : 1～9… 主に尋ねて行動するとき、主が責任を取られ守られる。